

# S&Uだより

2022年9月10日

(株) マルジン

福井 TEL 0778-27-7200 FAX0778-27-7201

名古屋 TEL 0586-81-1895 FAX0586-81-1896

新潟 TEL 0258-94-5772 FAX0258-94-5773

福島 TEL024-983-3970 FAX024-983-3971

safety & useful 発行 No298

ここ最近何度も耳にするようになって 全国各地へ現れ こちら福井県も 先月、大きな被害を被ってしまった「線状降水帯」という言葉ですが、実際にはどんな天気なのでしょうか。「線状降水帯」は、その名の通り、線のように存在する雨雲の様子を指します。実は「線状降水帯」には正式な定義はないようです。一般的には、激しい雨を降らせる積乱雲が集まったもので、大きさは幅 20～50km・長さ 50～200km。数時間同じ場所にとどまる性質があるものが「線状降水帯」と呼ばれています。ある一か所で積乱雲ができ、風に乗って移動したあとに、風上側に新しい積乱雲が次々と発生することで、積乱雲が線状に発生し続けるとされています。発生する条件やメカニズムは研究が続けられており、線状降水帯の発生を事前に予測することは難しいと言われています。ただ、天気予報で「線状降水帯が見られた」という発表があれば、その後数時間にわたって大雨・豪雨になる可能性があるそうです。「避難」と言われても なかなかできない、つい「大丈夫だ」と 何の根拠もなく思ってしまうのですが…災害時に避難指示などが出された場合は、速やかに避難したほうが BEST です。避難指示などが出ていなくても、近くで線状降水帯が観測されたと発表があったら、海沿いや川沿いには近づかない、なるべく外出は避ける、避難場所・避難経路を確認する、といった豪雨に備えた行動を取るようになります。雨の時期に天気予報でよく気言葉には、他にも「梅雨」や「ゲリラ豪雨」があります。これらの雨に関する言葉と「線状降水帯」にはどのような違いがあるのでしょうか。「梅雨」は、春から夏にかけての時期に、雨が多い日が続く天候のこと。梅雨が起これるのは、温かい空気と冷たい空気がぶつかってできる前線が関係しています。

5月～7月頃に日本付近でできる前線が「梅雨前線」と呼ばれ、梅雨前線などの前線の付近では雨が降ります。前線などで発生した積乱雲が線状に伸びたものが「線状降水帯」です。線状降水帯が発生すると、大雨が長時間続く「集中豪雨」になる可能性があります。一方で、「ゲリラ豪雨」とは、突然強烈な雨が突然降りだすこと。まとまった地域ではなく、局地的に積乱雲が発生することで、ある地域だけ突然大雨が降ることがあります。気温の変化が激しいと、突然の大雨＝ゲリラ豪雨になりやすいと言われています。つまり、**梅雨前線＝高気圧と低気圧のぶつかる場所・線状降水帯＝積乱雲の形状・梅雨、ゲリラ豪雨＝天気の様子**ということになります。

梅雨前線が近づいているとき、線状降水帯が観測されたときは、豪雨が発生する可能性もあるので、天気予報に注意しましょう。こういった、豪雨が増えている背景には地球温暖化があるといわれています。温暖化によって、異常気象の頻度が増していて、それが、日本では特に大雨が増えているようです。気象庁が発表したものに、今後、温暖化が進むと、日本がどうなるかを予測した地球温暖化予測情報があるそうです。それによると、21世紀末の気温は20世紀末と比較してなんと、4.5℃上昇してしまうということになっています。大雨に関する予想では、1時間降水量が50mm以上の滝のような雨の発生回数が全国平均で2倍以上に増えるという予想になっています。逆に、雨の降らない日数が全国的に増え、雨の回数も減って、その結果、降る時は一度に大量の雨が降ると言うことだそうです。世界の温暖化は着実に進んでいます。特に2000年あたりから加速しているともいわれています。↑これは 先だっ



マルジン 9月のカレンダー							～<日々の安全確認を！>～
日	月	火	水	木	金	土	台風や 集中豪雨で モノレールルートに倒木や 支柱の地盤の緩み などございませんか？ そんな異常を発見されたら お早目に マルジンへご連絡をお願いいたします！
				1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30		

# モノ霊流日記 その1「積載量」

